



演題募集が開始されました

日本乳癌学会 会員の皆様

新型コロナの感染状況も沈静化して緊急事態宣言も解除されましたが、いかがお過ごしでしょうか。**第30回日本乳癌学会学術総会が、2022年6月30日(木)～7月2日(土)**の日程で開催されます。会場は第29回学術総会と同じパシフィコ横浜ノースです。ホームページは <https://site.convention.co.jp/30jbc/> をご覧ください。

来年のコロナの感染状況がどうなっているか不明ですが、現地開催で準備を進めております。なお、ウェブ参加も可能となるようハイブリッド形式での開催を予定しております。テーマは「**次世代に繋ぐ乳癌診療：それぞれの役割**」とさせていただきました。来年は第30回という記念すべき大会となります。現在の乳癌診療がさらに10年、20年、脈々と受け継がれるように、乳癌診療に携わるメディカルスタッフや基礎研究者がそれぞれの立場で考えていただく機会となるように企画しております。ポスターもこの思いを込めて作成いたしました。

2021年10月18日から12月21日(火)までの間で演題を募集いたします。今回の募集は主題演題（シンポジウム、メディカルスタッフセッション、ビデオセッション）と一般演題（厳選口演、ポスターディスカッション、ミニポスター発表、e-Poster）です。シンポジウムでは多くの領域で公募しており、優れた成果や画期的な取り組みについては

「厳選口演」として採択いたします。ポスターディスカッションではポスター演題の中でも優秀な演題について、モデレーターを中心にスライドを使ったディスカッションを行います。ミニポスター発表ではスライドを用いて発表いただき、質疑応答を行います。e-Posterでは発表・質疑等を行わず e-Poster にて内容を閲覧いただき、会場におけるポスター掲示はありません。新型コロナへの対策のため、会場におけるポスター掲載は一部のものに限定させていただきます。

第 30 回から**発表演題の倫理審査が必須**となります。ご自分の演題が倫理審査必要な演題かどうかご確認いただき、必要な演題に関しましては必ず倫理委員会で承認いただくようお願いいたします。詳細は、<https://site.convention.co.jp/30jbcs/rinri/> をご覧ください。

学術総会での発表は業績となるだけでなく、多くの先生方との情報共有が可能となります。そして、ディスカッションを通してご自身の研究のさらなる進展につながり、聴講される先生方にとっても有用な情報が得られるはずです。この 2 年間多くの会はウェブでの開催となりましたが、現地にて発表を聞き、対面にて質疑応答やディスカッションすることは、ウェブでは得られないものがあるのではないのでしょうか。皆様の演題応募、そして現地でのご発表をお待ちしております。

(第 30 回日本乳癌学会学術総会 会長 三好康雄)